

令和元年6月定例会 環境農林委員会の概要

日時 令和元年 7月 1日(月) 開会 午前10時 1分
閉会 午後 0時22分

場所 第6委員会室

出席委員 飯塚俊彦委員長

萩原一寿副委員長

関根信明委員、小川真一郎委員、新井一徳委員、岩崎宏委員、小島信昭委員、
杉田茂実委員、石川忠義委員、木村勇夫委員、守屋裕子委員

欠席委員 なし

説明者 [環境部関係]

小池要子環境部長、安藤宏環境部副部長、田中淑子環境部副部長、
佐藤卓史環境政策課長、松井明彦温暖化対策課長、
石塚智弘エネルギー環境課長、堀口郁子大気環境課長、酒井辰夫水環境課長、
山井毅産業廃棄物指導課長、河原塚啓史資源循環推進課長、
島田厚みどり自然課長

[農林部関係]

牧千瑞農林部長、野口典孝農林部副部長、小畑幹農林部副部長、
根岸章王食品安全局長、前田幸永農業政策課長、
横塚正一農業ビジネス支援課長、片桐徹也農産物安全課長、
丸山盛司畜産安全課長、佐藤正行農業支援課長、山岸典夫生産振興課長、
荒木恭志森づくり課長、林淳一農村整備課長

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案
なし

2 請願
なし

所管事務調査

農林部関係

メガソーラー設置に伴う林地開発許可に関する落石問題等への対応について

報告事項

1 環境部関係

(1) 指定管理者に係る平成30年度事業報告書及び令和元年度事業計画書について
(2) 「水素エネルギーの利用拡大」に係る附帯決議への対応・考え方について

2 農林部関係

(1) 指定管理者に係る平成30年度事業報告書及び令和元年度事業計画書について
(2) 令和元年度における指定管理者の選定について
(3) 熊谷市上之地内における農地転用許可等調査特別委員会調査報告書において指摘された事項について

【所管事務に関する質問（メガソーラー設置に伴う林地開発許可に関する落石問題等への対応について）】

守屋委員

- 1 メガソーラーの林地開発の件について、現在、何件あるのか。
- 2 日高市ではメガソーラーの件で住民運動が行われている。この件について県に許可申請が出ているのか。

森づくり課長

- 1 太陽光に関する林地開発については、現在7件が許可中である。
- 2 日高市の件については現在、計画は県に出されていない。

守屋委員

日高市の件については、申請が来ていないということで分かった。住民運動が起きたところについては、とりわけ慎重に対応していくことをお願いしたい。越生地域で関連区域2ヘクタールの開発が進められている。この開発については1ヘクタール以内の計画であったが、上の方がかなり伐採されており、3月には巨石が落下し、その下は町道であった。これらに対しては埼玉県全体の山の落石問題として対応していかなければならない。山の中にまで伐採が行われていることに対して何か聞いて指導しているのか。

森づくり課長

林地開発許可の審査については、森林の働きが損なわれないように土砂災害が起きないか、水害が発生しないか、水の確保に影響がないか、環境の保全に影響がないかについて、これらの基準に基づいて事業計画を審査していく。1ヘクタールを超えた場合は林地開発の許可が必要であるが、1ヘクタール未満の場合は、市町村に森林の伐採届を提出することになっている。今回の越生町の件については、林地開発の対象になっていないので町の対応になる。

守屋委員

越生町の件について、伐採したところに木を植えるように指導があったとのことだが、それらを踏まえて県として確認していくことが大事ではないか。町道の奥はあじさい通りになっていて通学路にもなっている。町道だからといって越生町だけの問題ではなく、県も、例えば1ヘクタール以下の所であっても、奥で伐採が行われていることについて、木を植えることを指導し確認すべきではないか。

森づくり課長

1ヘクタール以下の森林の伐採届については、市町村が扱う事務となっているので、伐採した所に木を植えさせる指導は市町村の事務である。それよりも奥で伐採されるようなことがあった場合は、一体となって転用されているものなのか、個々に伐採されたものなのか現場の状況に応じ、伐採届で済むものか、林地開発の許可が必要かを判断する。